会　　告

2025 年春季大会（第 61 回通常総会・第 60 回講演会）開催について

1. **会場**　新潟大学 五十嵐キャンパス 「総合教育研究棟　B 棟 2F」
（新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地）
2. **期日**　2025 年 3 月 26 日（水）～28 日（金）
・理事会　　3 月 26 日（水）12 時～：B256
・評議員会　　3 月 26 日（水）15 時～：B256
・講演会　　3 月 27 日（木）9 時 30 分～：B251，B253
3 月 28 日（金）9 時 30 分～：B251，B253
・ポスターセッション（優秀学生賞選考）　3 月 27 日（木）10 時～（コアタイム 11 時～）：B254
・総会・学会賞表彰式・受賞講演　3 月 27 日（木）13 時～：B255
・テーマセッション　3 月 27 日（木）15 時～：B255
・研究交流会　3 月 27 日（木）17 時 45 分～：第 3 学生食堂
3. **大会運営委員**
・委員長　長谷川英夫（新潟大学）
・委　員　趙鉄軍，伊藤崇浩（新潟食料農業大学），白土宏之，加藤仁（農研機構中農研），冠秀昭，金井源太（農研機構東北研）
・事務局
〒 943-0154　新潟県上越市稲田 1 丁目 2-1
農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）中日本農業研究センター 上越研究拠点
Email:spring@jsfwr.org
4. **共催（テーマセッション）**　農研機構中日本農業研究センター
5. **講演申込み・講演要旨原稿および講演要旨概要原稿送付要領**
（1）学会ホームページ（https://jsfwr.org/）から，講演申込フォームに必要事項を記入するとともに，原稿作成要領によって，①講演要旨原稿（農作業研究第 60 巻別号掲載用），②講演要旨概要原稿（農作業研究第 60 巻第 2 号掲載用）を作成し，送信して下さい．送信可能なファイル形式は①講演要旨原稿は PDF のみ，②講演要旨概要原稿は Word のみです．これらのファイル形式が不可能な場合は事務局までご連絡ください．締切は 2025 年 1 月 27 日（月）必着です．
（2）講演要旨の筆頭者および講演会での発表者は本会会員であることが必要です．会員でない場合は，講演申込みまでに入会手続きをして下さい．入会手続きについては学会ホームページをご覧下さい．
（3）優秀学生賞はポスター発表を行った学生会員から，選考委員の審査により選出します．応募する場合は後述の「優秀学生賞の募集について」をご覧下さい．
6. **講演について**
（1）講演は 1 課題 15 分（発表 12 分，質疑応答 3 分）です．
（2）講演には PC（各自持込）のみ使用可能です．プロジェクターのケーブル（D-Sub15 と HDMI）は事務局で準備しますが，講演時の接続も含め各自で対応願います．
7. **参加費**
・①大会参加費：5,000 円（講演要旨集 1 部を含みます．講演要旨集の追加購入は 1 部 1,500 円です）
・テーマセッションのみの参加は無料です．
・終身会員および名誉会員の大会参加費（講演要旨 1 部含む）は無料です．申し込みの備考欄に終身会員等について記載してください．

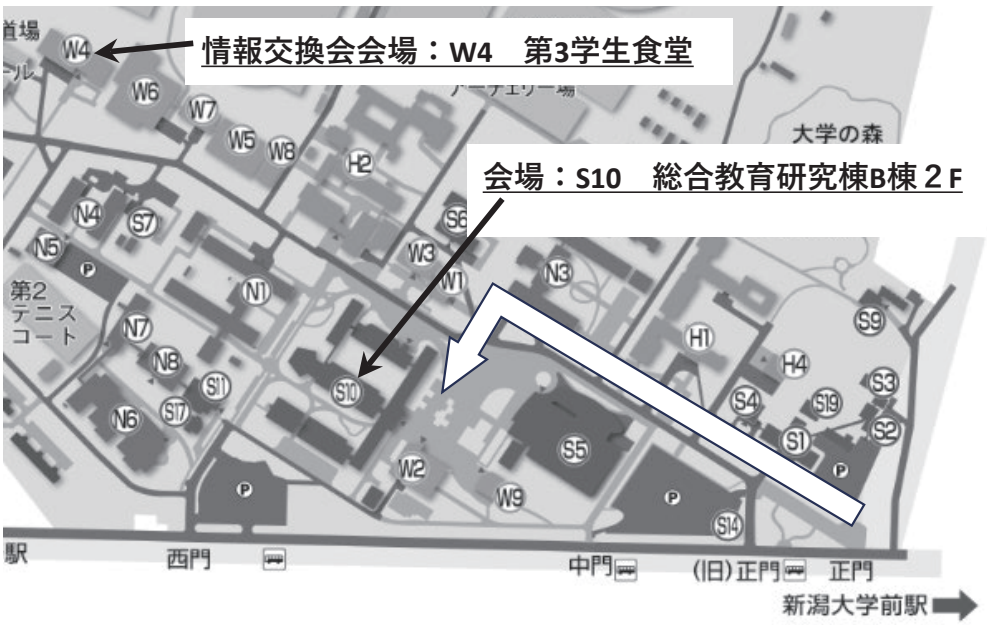
・②研究交流会参加費：5,000 円
・参加費等の代金は当日，受付でお支払い下さい.
・領収書の指定等がある場合は申込時の備考欄に記載して下さい．こちらでは①②毎に宛名をご所属，お名前としてそれぞれ発行する予定です.
・なお，上記の参加費につきまして，日本農作業学会は非営利団体として免税事業者となっております。よって，「課税」，「非課税」，「不課税」には該当せず，消費税は発生しません。また，適格請求書（インボイス）を発行できる適格請求書発行事業者ではありません.

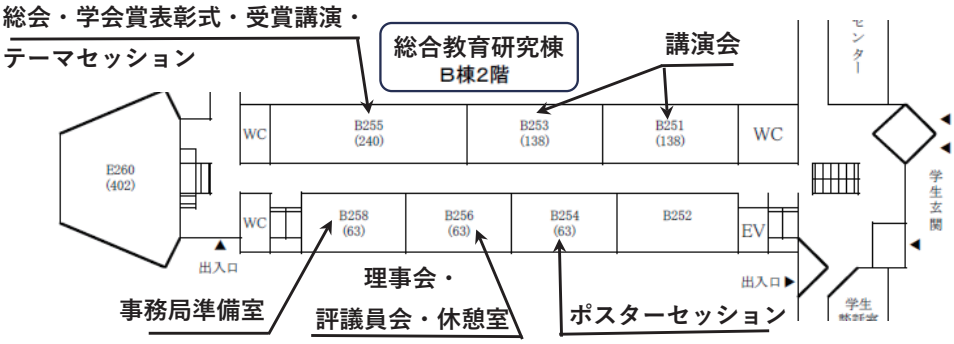
8. 参加申し込み要領

・テーマセッションのみの参加は申し込み不要です.
・大会参加申し込みは．学会ホームページから 2025 年 2 月 28 日（金）までにお願いします.
・当日の大会参加申し込み（研究交流会含む）はできません。事前に申し込みください。
・研究交流会への申し込み後のキャンセルは基本的にできません。キャンセルの場合でも参加費をお支払い頂きます.

9. 大会会場案内

・五十嵐キャンパス案内：https://www.niigata-u.ac.jp/university/access/ikarashi/
・所在地：〒 950-2181　新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地
・交通案内：＜鉄道＞JR「新潟駅」から JR 越後線に乗車し（約 20 分）「新潟大学前駅」下車，駅より徒歩約 15～20 分.
＜バス＞新潟駅バスターミナル 7 番のりばより W2 西小針線（W21「新潟大学」行　または　西小針・新潟大学経由「内野営業所」行）乗車→「新大正門」／「新大中門」／「新大西門」（約 45 分）下車後, 徒歩約 3～5 分．バスはホテルが近接する新潟駅や市街地（万代シティや古町）を通り，新潟大学や内野営業所に向かいます．五十嵐キャンパス案内 URL 中の時刻表→新潟交通バス→「新潟駅⇔新大正門・中門・西門」→ W2 西小針線・時刻表をご覧になり，停留所と乗車・到着時刻を確認下さい．なお，中門には横断歩道がないので，正門または西門での下車が安全です.





10. 宿泊案内

・宿泊については各自でご予約ください．ホテルは新潟駅近郊や，万代シティエリア（信濃川河口の駅側商店街・バスセンター有），古町エリア（万代シティの対岸，信濃川にかかる万代橋を渡った地域の商店街）に多くあります．ホテルに近い JR 駅やバス停留所を確認下さい．

11. その他

・本大会は対面開催とします。オンライン開催またはオンラインを加えたハイブリッド開催は予定しておりません．

・昼食は大学内の一部の学生食堂が利用可能です。講義室での飲食はできません（水分補給のためのペットボトル等の持ち込みのみ可能です）．

講演および参加申し込みは学会ホームページからお願いします．
講演申し込み締切　1 月 27 日（月）
講演要旨原稿，講演要旨概要原稿提出締切　1 月 27 日（月）
大会参加申し込み締切　2 月 28 日（金）

学生会員および指導教員の方へ －優秀学生賞の募集について－

表彰委員会

日本農作業学会 2025 年度春季大会（新潟大学）において，大会の活性化と優れた学生会員の学会活動の継続を促すことを目的に，優秀なポスター発表を行った学生会員に対し，日本農作業学会長名で優秀学生賞を授与いたします．本賞は，講演要旨とポスター発表で評価・審査されます．本賞に応募される学生会員は，学会ホームページ（http://www.jsfwr.org/）から，講演申込フォームに必要事項を記入し，優秀学生賞の欄で「応募する」をチェックして下さい．講演要旨は，原稿作成要領に従って作成し，講演要旨原稿（農作業研究第 60 巻別号掲載用）と，講演要旨概要原稿（農作業研究第 60 巻 2 号掲載用）を，2025 年 1 月 27 日（月）までに学会 ホームページ から送付して下さい．また，ポスターは以下の通り準備して下さい．

なお，本大会は 2025 年度春季大会であるため，2025 年度も引き続き本学会会員である必要があることを申し添えます．学生会員におかれては，奮ってご応募いただきますよう，ご案内いたします．

1．ポスターの作成と掲示

ポスターは A0 縦サイズで作成して下さい．ポスターは応募者自身が 3 月 27 日のコアタイム前までにポスター会場のパネルに掲示してもらう予定です．掲示に必要な資材は学会が会場に準備いたします．

2．コアタイムでのポスター発表

優秀学生賞に応募された学生会員には，大会期間中のコアタイムにおいて，ポスター発表をしていただきます．コアタイム等の詳細は，プログラム公表に合わせて学会ホームページに掲載します．

3．受賞者の選考

受賞者の選考は，講演要旨およびポスター発表に基づき，研究の独創性，正確性，応用への発展性等を総合的に勘案して，選考委員会が選考を行います．受賞者には，会長名で表彰状が授与されます．

4．その他

ポスターでの発表は，優秀学生賞応募者のみ可能です．優秀学生賞に応募しない学生会員および一般会員は，口頭発表にお申し込み下さい．

2025 度春季大会におけるテーマセッションのご案内

企画委員会

テーマ：北陸地域における大規模水田作経営を可能にする水稲直播技術とその展開
概要：

水田作では生産者の高齢化により担い手への農地集積が急激に進んでいる．北陸地域は担い手への農地集積率が 60％を超えており，北海道に次いでその傾向が顕著である．経営面積が急激に増えている大規模水田作経営体では，水稲の春作業の分散が大きな課題となっている．

水稲の移植栽培は労働時間の 42％が春作業，18％が秋作業に集中しており，規模拡大の制約となっている．秋の作業ピークである収穫期については品種の早晩性の違いなどを用いた作業分散が可能である．一方，北陸地域では春の作業ピークを分散できる余地は小さい．北陸地域は 3 月も降水量が多く，地域によっては消雪が遅く，重粘な土壌とも相まって耕起作業を早められないという地域特性がある．直播栽培は春作業の分散・省力化に有効であるが，適期に播種できる面積には限界がある．

本テーマセッションでは, 大規模水田作経営体において春に集中する作業労力を分散・軽減するために, 前作収穫後の初冬から春までの間で担い手が播種期を自由に選べる直播栽培技術の構想と北陸地域における開発・実践状況について報告する．また直播と ICT 技術を活用して作業分散を実現している大規模経営体の水稲 - 麦 - 大豆 - 園芸作の水田輪作について報告する．内容の一部は，生物系特定産業技術研究支援センター　オープンイノベーション研究・実用化推進事業「初冬から早春まで「いつでも直播」: 春の作業ピークを平準化できる革新的稲作技術」（R6～R10）によるものである．

基調講演：初冬から早春まで播種可能な水稲直播栽培構想（下野裕之：岩手大学）
話題提供：

1. 北陸地域における水稲初冬直播き等作期分散技術の開発
   （大平陽一：農研機構中日本農業研究センター）
2. 豪雪地における水稲初冬直播き栽培の挑戦
   （大島毅彦：有限会社上野新農業センター（新潟県関川村））
3. 水稲直播栽培と ICT を導入した稲麦大豆園芸作大規模輪作経営
   （松田秀之：株式会社白銀カルチャー（新潟市秋葉区），
   加藤　仁：農研機構中日本農業研究センター）
4. 総合討論　座長：白土宏之（農研機構中日本農業研究センター）
   パネラー：下野裕之，大島毅彦，松田秀之，大平陽一，加藤　仁

日時・会場：

3 月 27 日（木）15 時～17 時
新潟大学 五十嵐キャンパス 「総合教育研究棟　B 棟 B255」
（新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地）

主催：日本農作業学会
共催：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構中日本農業研究センター
参加方法：オープン参加とし，テーマセッションのみの参加は無料

北陸地域における大規模水田作経営を可能にする水稲直播技術とその展開

2025年度　日本農作業学会春期大会公開テーマセッション

基調講演：

初冬から早春まで播種可能な水稲直播栽培構想（下野裕之：岩手大学）

話題提供：

1．北陸地域における水稲初冬直播き等作期分散技術の開発
（大平陽一：農研機構中日本農業研究センター）

2．豪雪地における水稲初冬直播き栽培の挑戦
（大島毅彦：有限会社上野新農業センター（新潟県関川村））

3．水稲直播栽培とICTを導入した稲麦大豆園芸作大規模輪作経営
（松田秀之：株式会社白銀カルチャー（新潟市秋葉区）、
加藤仁：農研機構中日本農業研究センター）

4．総合討論　座長：白土宏之（農研機構中日本農業研究センター）
パネラー：下野裕之、大島 毅彦、松田秀之、大平陽一、加藤仁

・日時　2025年3月27日（木）　15：00～17:00

・場所　新潟大学 五十嵐キャンパス

総合教育研究棟　B棟B255

会場案内等：https://jsfwr.org/meeting/pdf/2025_spring_3.pdf

・事前参加登録不要・参加無料

・問い合わせ先：　2025年度　春期大会運営事務局
Email：spring@jsfwr.org

・主催　日本農作業学会

・共催　農研機構中日本農業研究センター

日本農作業学会
Japanese Society of Farm Work Research